

## 身近な物で音を出そう

時 期 いつでも

時 間 1時間

場 所 教室

○身近な素材を組み合わせて音の出る物を作り、たたく、破る、振るなどの方法で音を出す。

### ねらい

**親しむ** ・いろいろな素材やその組合せから、さまざまな音が出ることに興味をもち、身近な音に対する興味・関心を高める。

### 活動展開例 第1学年 音楽 「おんがくづくりをたのしもう」

準備物	・音が出る物（ペットボトル、缶、瓶、カップ、ビーズ、豆類、ティッシュペーパーの箱、輪ゴム、新聞紙、割り箸、棒、ストロー、水、砂 など）		
	時 間	活 動 内 容	留 意 点
	事 前	○音が出る物（素材）を用意する。	・家庭に協力を呼びかけて一定期間を設け、音が出る物を集めておく。
	10分	○よい音を聞いた経験を思い出す。 ○教師の出す音がどんな音か、聞く。 ・小さな音と大きな音 ・気持ちのよい音といやな音 ・自然の音（効果音CDの活用）	・よく聞かないと聞き取れない小さな音や、同じ素材でも大きな音と小さな音が出ることを実演する。自然の素材（水、砂、木）を準備できるとよい。
	20分	○身の回りのもので、気持ちのよい音が作れることを知り、グループごとに物を使って、いろいろな音を出す。	・こする、ぶつける、はじく、振る、たたく、破るなど、同じ素材でもいろいろなやり方を試してみるよう助言する。
10分	○どのような音が作れたか、グループごとに発表する。	・同じ音でも人によって感じ方が違うことに気付かせる。	
5分	○身の回りにどんな音があるか考える。	・何がどんな音を出すかまで考えることで、心地よい自然の音（風、川、虫や鳥の鳴き声）や季節を感じる音、うるさく感じる工事や車の音、話し声などがあることに気付かせる。	

低学年



活用ガイド

○活動の様子

水や木は、  
やさしい音がして、気持ちがいいよ。



「やってみよう」と、水や木の棒で音を出しているところ。でんでん太鼓を自作して持ってきた児童もいた。



ペットボトルやカップの中に入れるものを工夫して、音を作っている様子。



いろいろな音の出る楽器

○ワンポイントアドバイス

- ・児童の多くは、日常生活において、あまり周囲の音に注意を払っていない。そこで、活動に入る前に音当てクイズ（材料を隠して音を出したり学校内の音を録音して聞かせたりする）をして、音に対する意識を高めるのもよい。
- ・木の棒は、太さや長さの組合せやたたく強さで手軽に音の違いが分かるので、実演するのに効果的である。

○実施した効果(活動を振り返って)

- ・児童によい音を聞いた経験を聞いてみると、「川でバーベキューをしたとき」「海で砂遊びをしたとき」などの音が発表され、楽しかった思い出とともに音が記憶されていた。
- ・当初は、グループ単位にして、音を比べながら活動を進めるよう計画していたが、ほとんどの児童が「楽器づくり」に熱中していた。そこで、音の出し方を発見する（楽器を作る）活動は個人の活動とし、できた音を聞き比べるのはグループ内での発表としてもよいだろう。
- ・児童が作る楽器は、ペットボトルや缶、カップなどを利用して、振って音を出すものが多かった。そこで、発表の際、振り方や中に入れる素材の違いで音が変わることに気付けるよう、音の出し方などを助言した。
- ・本活動終了後、「砂がいっぱいのところに、大きい石を落とすと、『シャ』と音がした。」「ブランコに乗っているとき、『ギゴギゴ』となった。」「鉄棒をはたいてみた。」「石と石をこすったら、『カシャカシャ』と音がした。」など、校庭で進んで音を見つけるようになった。

低学年



## ○他教科、領域等での活用

- ・第1学年 生活 「きのみであそぼう」
- ・第2学年 音楽 「がっきランドをたんけんしよう」「虫のこえ」

## ○発展

- ・今回の活動によって、普段何気なく聞いている音にも関心を払う児童が増えると考えられる。さらに、「大きな音」「小さな音」、「よい音」「いやな音」などにも関心を向けさせ、よりよい環境を保つために「音」が関係していることに気付かせていきたい。
- ・人によって音についての感じ方が違うことから、時と場に応じて周りを考えて話をしたり、静かにしたりするという態度にもつなげていきたい。

## ○音の大きさを調べる機器

音の大きさを調べる「騒音計」という機器がある。学校によっては、家庭科や保健室にある場合もあるので探してみるとよい。騒音測定は、環境評価の重要な測定項目となっている。



低学年



## ○活動にあたって参考となる文献やWebサイト

- ・細田 淳子 「わくわく音遊びでかんたん発表会」 鈴木出版（2006）
- ・「NHKクリエイティブ・ライブラリー 素材をさがすー音楽・効果音」 NHK  
<http://www.nhk.or.jp/creative/>  
 このサイトは、NHKアーカイブスの番組や番組素材から切り出した映像や音声を、視聴者の表現・創作活動に利用してもらうための「創作用素材」として、インターネットを通じて提供する無料のサービスである。